



週報

入間ロータリークラブ

2022-2023 RI 会長:ジェニファー・ジョーンズ RI2570 地区ガバナー:村田貴紀 会長:豊田義継 幹事:木下登

13号 3274回例会 2023年 3月 16日(木)

<お客様>

中部航空方面隊司令官

空将 坂本浩一 様

<入会式>ようこそ入間RCへ！

★職業分類:電気・ガス・水道・燃料

株式会社 モリヤ電機 津藤 淳也 様

本日入会させて頂きありがとうございます。皆さんと共に入間市の発展に努めたいと思います宜しくお願いいたします。



❀ 会長挨拶 ❀

豊田義継会長

ロータリークラブでは今、ウクライナ支援金事業を行なっております。

これは、ロシアによる一方的なウクライナ侵攻によりもたらされた非人道的で許されない悲しい出来事です。

急速に変化する世界情勢の中で、日本もいつまでも平和で安全であるという保証がなくなってきた時代に入ったと考えています。また今朝、北朝鮮が2発の弾道ミサイルを発射しました。司令官も緊張したのではないかと推察申し上げます。そんな中、今日は講師として中部航空方面隊司令官の坂本浩一様をお迎え致しました。大変位の高い司令官です。



会員の皆様は、あまり中部航空方面隊司令官という立場を理解出来ない方も多いため、簡単に説明をします。

航空自衛隊は、日本の空を4つに分けて守っています。中部航空方面隊は、北は宮城県から、南は岡山県までを守る、日本で最も重要な司令部なのです。それは、日本の経済、政治等の中心である東京、名古屋、大阪を守っているからです。

入間基地は、隊員数は多いのですが中空隷下の数ある基地の1つなのです。従って、入間基地司令とは、別格のレベルになります。本日の卓話を楽しみにしております。

また、本日は悲しい事と嬉しい事の報告をしなければなりません。

会員の寺井氏が3月3日に御逝去されました。多くの会員の参列をいただいたこと、お手伝いをして下さった方に御礼申し上げます。心から御冥福を申し上げます。

して、嬉しい事は、本日新入会員の入会式を行ないます。新しく私達の仲間になるのは、津藤淳也君です。一日も早くロータリーに馴染んでいただき、ロータリーライフをエンジョイしていただくことを願って、本日の会長挨拶とします。

■ 訃報

★ 寺井裕昭会員

三月三日、満六十四歳の生涯を閉じられました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



<木下登エレクト>

3/11 の第 2 回ロータリー財団部門セミナー及び補助金管理セミナーに次年度ロータリー財団委員長の関谷会員と参加して来ました。



最初に、村田貴紀ガバナーのロータリー財団補助金を利用して、各クラブの社会奉仕活動推進内容と挨拶がありました。

研修内容は、セミナー趣旨・災害支援金によるウクライナ支援、ポリオ根絶に向けての状況説明と、細淵克則資金推進・管理委員長による、昨年度までのロータリー財団寄付金の実績並びに今年度寄付金の進捗状況の報告がありました。そして、次年度に向けてのグローバル・地区補助金の申請手続きの説明があり、入間ロータリークラブでは、地区補助金の申請手続きを、現在進めております。続いて、ロータリー財団寄付認証バナーと感謝状授与式がありました。

●エバーロータリーエバーイヤー賞

●100%ロータリー財団寄付クラブ賞

受賞した二つのバナーは、事務局に掲示してありますので、ご確認願います。



<ニコニコBOX> 金井祐一 SAA

🌟坂本司令官、本日はよろしくお願ひ申し上げます。津藤会員入会おめでとうございます。楽しいロータリーライブを過ごしてください。

「豊田義継君、木下登君、金井祐一君 宮寺成人君、繁田光君、一柳達朗君 菅野茂実君」

本日¥7,000 累計¥487,000

<出席報告>

金田晋委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
37名	21名	60.0%	-----

事前欠席連絡 4名

■回覧、配布物

- ① 4/18 入間南合同例会ご案内&出欠表
- ② 6/22 豊田年度最終例会出欠表
- ③ 所沢中央 RC 創立 30 周年記念誌
- ④ 国際交流 NEWS No. 123
- ⑤ 茶の香めーる Vol. 86
- ⑥ ハイライトよねやま Vol. 276
- ⑦ バギオだより Vol. 95
- ⑧ いるまフードパントリー茶いるま
- ⑨ ロータリー財団海外派遣奨学生募集
- ⑩ 5/28 日本人親善朝食会ご案内
- ⑪ 4/18 入間南合同ゴルフコンペ出欠表
- ⑫ フードバンク 寄贈品・ミルク募金受領書
- ⑬ 他クラブ週報&例会変更お知らせ
- ⑭ 入間 RC 週報 12 号



<坂本浩一様 豊田会長よりご紹介>

生年月日 昭和 42 年 7 月 18 日

出身地 福井県

学歴 防衛大学校第 34 期

特技 航空機整備

略歴

平成

21 年 8 月 幹部学校付

(21.8 目黒統合短期課程 4 期)

(21.9 防衛研究所一般課程 57 期)

22 年 7 月 航空幕僚監部防衛部装備体系課

8 月 航空幕僚監部防衛部装備体系課装備体系企画班長

24 年 2 月 航空幕僚監部防衛部防衛課業務計画班長

12 月 航空自衛隊第 2 補給処資材計画部長

26 年 4 月 航空幕僚監部装備部装備調整官

27 年 12 月 航空幕僚監部装備計画部装備課長

29 年 12 月 防衛大学校教育学群長兼教授

令和元年 8 月 航空幕僚監部装備計画部長

令和 4 年 3 月 航空教育集团司令部幕僚長

令和 4 年 12 月 現職

■ ■ ■ 講 師 卓 話 ■ ■ ■ 「中部航空方面隊の概要」

空将 坂本浩一 様

本日、歴史と伝統のある入間ロータリークラブの皆様に対し、お話をさせて頂く機会を得たことを大変光栄に思います。



これより私の所属する中部航空方面隊の概要について紹介させていただきます。

その前に私の経歴を簡単に紹介します。防衛大学校を34期生として卒業し、千歳基地の第2航空団に配属され、戦闘機の整備を担当する部隊の小隊長（部下数：約100名）の職に就きました。当時は若く、経験もなかったのが不安もありましたが、隊員の皆さんとともに仕事を進めていくことで、様々な経験ができ幹部としての土台を築くことができました。当時の隊員の皆さんには今でも感謝しています。

その後、防衛大学校（指導教官）や補給本部等の勤務を経て、中級幹部（30代）からは航空幕僚監部を中心とした仕事に変わっていきました。航空幕僚監部の仕事は予算編成業務などがあり、時には財務省に行き予算の必要性について説明したこともありました。その後は部隊と航空幕僚監部を行ったり来たりして、昨年12月に中部航空方面隊司令官の職に就きました。

首都圏中枢を含む広大な防衛区域を担う指揮官として、全力をもってその職務に邁進していきたいと思っています。

まず初めに戦闘機部隊について説明します。戦闘機部隊は全国7つの航空基地に配置されており、中部航空方面隊には第6航空団（小松基地：F-15部隊）と第7航空団（百里基地：F-2部隊）があります。戦闘機部隊が担う重要な任務の一つに



領空侵犯措置があります。例えばロシア機や中国機が日本の領空に近づいてきた場合には戦闘

機を緊急発進させ、「これ以上飛んでくると日本の領空に入るので進路を変更してください!」といった警告をする等の一連の活動をいいます。

2021年度の実績は1000回を超え、2020年度の実績から300回近く増加しています。また国・地域別の内訳で見ると中国が約7割を占めています。

30年以上前はソ連の脅威が大きく、ソ連機の割合が大半を占めていたと記憶していますが、東西冷戦の終結、ソ連邦の崩壊とともにその活動は低調となり、しばらくの間は低めで推移していました。今から直近10年ぐらい前から中国機が増加の傾向を示し、現在に至っています。私が航空自衛隊に入った頃（30年以上前）と比較すると明らかに日本周辺の安全保障の環境は変化してきています。

戦闘機部隊の最近の訓練について紹介します。今年1月16日から26日にかけて、航空自衛隊創設以来、初めてとなる日本とインドの戦闘機共同訓練が行われました。茨城県の百里基地で実施され、お互いの戦術技量の



向上につながるいい訓練になりました。また、訓練だけでなく文化面でも交流を深めました。日本側が餅つき大会や鏡開きをして日本の文化を紹介すると、インド側はヨガ教室を開いてくれる等、相互理解の促進にもつながりました。

共同訓練というと日米共同訓練を思い浮かべる方が多いと思いますが、最近では米国に加え、インド、オーストラリア等との2国間、多国間の訓練も行われています。自由で開かれたインド太平洋の維持強化、そして地域の平和と安定のためインド太平洋の国々が連携をして、各種訓練を行い安全保障環境の向上に努めています。

続きまして航空警戒管制部隊について説明します。北から南まで日本には28個のレーダーサイトがあり、中部航空方面隊は8個のレーダーサイトを運用しています。我が国の周辺空域を24時間態勢で監

視し、領空侵犯の恐れがある航空機を発見した場合には、緊急発進した戦闘機を誘導し、領空侵犯を未然に防止します。

また、個人的にレーダーサイトには思い入れがあります。

実は私の父親は航空自衛官としてレーダーサイトで勤務していました。父親の転勤とともに御前崎、輪島、宮古島等に同行しました。特に当時の宮古島（沖縄県）は米国から本土復帰した直後であり、車は左ハンドル、右側通行のままであり、まだ米国の影響が残っていて大変印象に残っています。

次に高射部隊について説明します。本日（3月16日）は中部航空方面隊に所属している第1高射群（入間基地）及び第4高射群（岐阜基地）が改編され、中部高射群（入間基地）が新編された記念すべき日になります。この改編により、これまで以上に効率的な高射部隊の運用が可能になり、航空機や弾道ミサイルから我が国を防衛する体制がより強化されました。

次に硫黄島基地隊について説明します。硫黄島は東京から1200km以上南に位置しており、太平洋戦争中に米軍が上陸して陸上戦闘が行われた地でもあり歴史的にも非常に重要な意味を持っています。現在は、航空自衛隊と海上自衛隊が常駐し移動訓練にきた部隊を支援する他、遺骨収集等の活動も支援しています。

次に災害派遣の状況について説明します。中部航空方面隊が担う災害派遣エリアは1都2府23県に及び非常に広いのが特徴です。2021年度から今年にかけての活動実績は、足利市における森林火災へのヘリコプターによる放水、熱海市の豪雨に伴う捜索救助等（人員約500名が参加した他、救助犬や小型無人機を活用）、その他にも急患空輸や給水支援などを行いました。

最後に中部航空音楽隊について説明します。中部航空音楽隊は浜松基地に所在し中空区域内の皆様への広報活動及び隊員の士気振作のための演奏活動を行って

ます。新隊員の入隊式などの演奏や募集を含めた広報活動のほか、自治体等の皆様からのご依頼により演奏活動も実施をさせて頂いています。昨年は狭山市の市民会館において高校生を中心とした定期演奏会を行いました。今年も計画しますのでよろしくお願ひします。




今後も中部航空方面隊は、汗を流し、あらゆる努力をして、国民の皆様への安心安全のため、全力で取り組んでいきます。我が国の美しい空と海、そして故郷をより良い形で未来へ繋げるため、強靱かつ柔軟な運用能力を向上させ、より精強な存在となり誇りと覚悟をもって役割を全うします。引き続き中部航空方面隊に対する変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
 ■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
 ■例会会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
 ■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：細田浩司

 **Rotary**